

小節	練習曲と留意点	備考
遠くへ行きたい		11/6 県芸術祭
1 小節	アクセントの表現は“ポワ～ン”と	T1・T2
13～14 小節	①音量 p ながら“あるいてみたーい”は自然に盛り上がり。ただし、15 小節では p に戻って ②“あるてみたーい”のア母音は口をタテに開けて。特に“み”から“た”へはシッカリ上がり	全 Br
24 小節	“…とおーくへ”の“へ”の音量を控えて（最後の一押しなし）	全
27&29 小節	“とおーい…”の T 子音を強調して	全
29～32 小節	“とおいうみ…はるかー”は一つのフレーズで（ノンブレスで）29 小節から cresc. だが、最初は少し抑えてから盛り上げて	全
34 小節	ラ/シの和音でぶつかっている。“ラ”を少し控えて	Br
39～42 小節	メロディーの T2 はもう少し出して	T2
海、その愛		11/16 県芸術祭
10～26 小節	“たとえー(10・18)”“やぶれー(11)”“もえるー(12)”“ゆめをー(13)”“もとうー(13)”“ひとりでもー(19・20)”“ほしをー(20)”“よみながらー(21)”“よみながらー(22)”“なみのー(22)”“うえをー(23)”“ゆこうー(24)”の 16 分音符のこばをシッカリ発音して（歯切れよく）	全
11.&21 小節	“やぶれーてもー”と“よみなーがらー”のフォルダメントが気になる（45、47、53、55 小節も同様に注意のこと）→“て”や“が”のこばを改めて言い直すとフォルダしにくくなるかな？～市村コメント	全
40 小節	4 拍目で“うみ…”と入る（ピアノ伴奏をよく聞いて）	T1・T2
勇気のカタチ		
1～8 小節	5 小節は mp で 6 小節から cresc. して 7 小節の頭で f に	全
26 小節	4 拍裏拍の“は”は xH 子音を強調して	T1・T2
32 小節	“おーわーりますねー”の“おーわー”はつないで（弾まないこと）	全
103～104 小節	“…くれたーゆうきをー”の“くれたー”でブツと切れずに	T2・Br
125 小節	“fp cresc.”は、f でブツけてすぐ p に引いた後で cresc.	全
君は今でも		
全般	cresc. と decresc. が交互に出てくるが cresc. を思い切って	全
34～35 小節	“ずっとー”の“ず”は Z 子音を立てて	全
93 小節	3 連符テヌートの“うーみ”は 1 拍振りとなる（指揮に合わせて）	全
無縁坂		
全般	p の時の発声は緊張感をもって。また細かなリズムを歯切れよく	全
27～30 小節	内声（T2・Br）は f を維持し、外声（T1・Bs）は mp から poco a poco cresc. して f まで（内・外声がバランスよく） 31 小節からの曲想の変化（f → p）に留意	全
琵琶湖周航の歌		
13～15 小節	“さぎり”“さざなみ”の“さ”は S 子音を立てて（Z 子音も）	全
22～23 小節	“…すなーしーろくー”の“なー”は口をタテ長に開けて	Br
My Way		
全般	最初は音量を抑え目に、だんだんに盛り上がり	全
20～22 小節	“あいとーなみだとー”は“とー”の T 子音を立てて	T2・Br

\* 歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村